２０２５年　４月

～第 105 号～

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

『春の特別講演会』・春の特別企画展『「萩野昇医師の生きた時代」写真展』を開催します

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

資料館では、開館記念日に合わせて 4 月 29 日（火・祝）に、春の特別講演会を開催します。

日時：4 月 29 日(火・祝)　14：00～15：20
場所：イタイイタイ病資料館 2 階
　　交流学習ルーム（WEB 参加も可能）
参加料：無料

今回の特別講演会では、医療法人社団 継和会 萩野病院 院長 青島恵子先生に「イタイイタイ病と昭和 100 年-過去・現在・未来-」と題し、昭和 100 年となる今、イタイイタイ病の過去と現在を捉え返し、未来に向けて私たちのなすべきことを探りたいといった内容をお話しいただきます。

なお、参加にあたっては、事前申込みが必要です。案内チラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入の上 FAX または資料館ホームページの参加申込フォームからお申し込みください。ただし、先着順により会場定員(50 名)に達し次第申込みを締め切らせていただきますのでご了承願います。今回から WEB 参加の受付も開始しました。

皆様のご参加をお待ちしております。

また、4 月 25 日(金)～5 月 6 日(火・振休)のゴールデンウイーク期間中、資料館 1 階 展示室通路にて『「萩野昇医師の生きた時代」写真展』を開催します。(4 月 28 日(月)は休館日)

この写真展では、イタイイタイ病の治療や原因究明に取り組まれた萩野昇医師に関する写真パネルを展示します。

事前申込みは不要で、入場は無料です。
こちらも、多くの方々のご来場をお待ちしております。

案内チラシは、資料館ホームページからもダウンロードできます。
「資料館ホームページ」
（URL：https://www.pref.toyama.jp/1291/kurashi/kenkou/iryou/1291/index.html）

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』を開催しました

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

2025 年 2 月 16 日（日）、資料館 2 階 交流学習ルームにおいて『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』を会場とオンラインで開催しました。会場には 64 名、オンラインでは 11 名の方々にご参加いただきました。

有賀厚生部長の挨拶の後、次代を担う若者たちによる発表が行われました。

最初に、富山市立西部中学校 2 年生の生徒 4 人が、富山大空襲とイタイイタイ病の二重の苦しみを体験した方々がいることを知り、「富山をもっと大事にしていきたい気持ちになった。」と訴えました。

次に、富山市立太田小学校 5 年生の児童 7 人は、イタイイタイ病資料館を見学したり、調べたりして分かったことをスライドにまとめ、「この恐ろしい病気は忘れてはいけない事実。多くの人に伝えていきたい。」と訴えました。

発表の最後は、富山県立富山中部高等学校探求科学科 1 年生の生徒 4 人が、イタイイタイ病は何に影響を受け、何に影響を与えたかを産業（鉄道）、社会（風評被害）、文学の視点でまとめ、調べた成果を発表しました。

～次代を担う若者たちによる発表～
（左から　富山市立西部中学校、富山市立太田小学校、富山県立富山中部高等学校探求科学科）

引き続き、野田館長が当資料館の今年度事業を報告した後に、フォーラムの後半では金沢大学情報医学開発講座 特任教授 金子周一先生に「なんでもが情報で動く時代がやってくる？」と題し、特別講演をしていただきました。そう遠くない未来に、ロボットが医療現場に入ってきても不思議ではないというお話に、参加者は興味深く聴講していました。

～事業報告～

～特別講演～